

行政は積極的な話し合いから

= 市長施政方針 =

平成八年度の一般会計と五つの特別会計の当初予算が決まりました。

三月一日から開かれた第一回市議会定例会に小平市長が示した一般会計予算は、九五億六、五〇〇万円、平成七年度（九十億四、八〇〇万円）に比べ、五億一、七〇〇万円（五・七一％）の増額になりました。

また、国民健康保険費を始めとする五つの特別会計の総額は、四三億九、五六一万一千円で、平成七年度（四十億一、五四七万一千円）に比べ、三億八、〇一四万円（九・四六％）の増額になりました。

平成八年度の予算編成に当たっての施政方針および新年度の主な事業は次のとおりです。

我が国においては、長期にわたる景気の低迷が続き、一日も早い回復が求められており、さらに高齢化社会への対応、国民生活における真のゆとりとゆたかさの実現、地方分権の推進など多くの課題が山積しております。

こうした諸情勢の下、新たに迎えるようとしている平成八年度は、国内景気は緩やかながら回復の動きがみられ始めておりますが、雇用情勢や地域経済は極めて厳しい状況にあります。

私は市長就任以来、市議会を始め市民の皆様のご理解とご協力のもとに、市民の福祉の向上と日光市の活性化を最大の目標に掲げ、自然と市民生活が調和するまちづくりを推進すべく精一杯努力を傾注してきたところであります。

私は、今後とも積極的な話し合いを基盤とした行政を推進してまいれる所存でありますので、議員ならびに市民の皆様との深いご理解と積極的なご支援を心からお願ひ申し上げます。

それでは、平成八年度予算編成にあたっての基本的な考え方についてご説明したいと思います。二十一世紀を間近に控え、我が国は、高齢化・情報化・国際化といった社会情勢に直面するとともに、経済的構造の変革を迫られており、これらの諸問題に的確に対応し、個性豊かな活力に満ちた地域社会を築き上げていくことが求められております。

しかしながら国の財政は、膨大な国債残高を抱え、財政構造の硬直化が懸念されるなど極めて厳しい状況が続いてお

り、今後、健全な財政運営を確保し、国債残高が累増しないような財政体質を作り上げていくことが基本的な課題となっております。

この様な状況の下で、平成八年度の本市の財政運営につきましては、市税収入においては、前年度比マイナスという状況にあり、また地方交付税についても大幅な増収は期待できないなど、今後、極めて厳しい局面を迎えることが予想されます。従いまして今後の経済動向その他、諸般の状況を的確に把握し、行政の簡素化、効率化をより一層進めるとともに、施策の優先順位の厳しい選択を行うなど削減、合理化に取り組みながら、市民の付託に応えるため市民福祉の着実な向上を図り、住みやすく魅力あるまちづくりを積極的に推進してまいります。

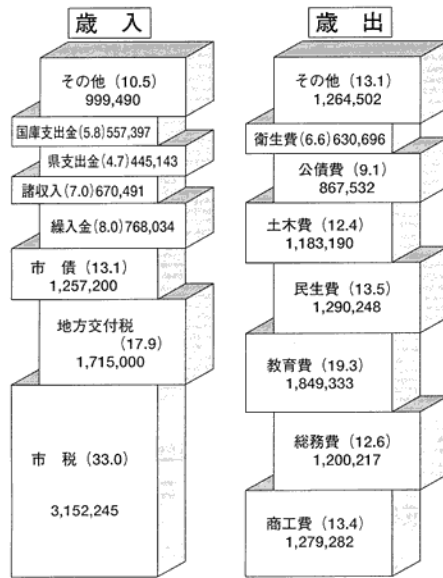
本予算につきましては総括的に申し上げますと、歳入につきましては、全体的に非常に厳しい状況下ではありますが、市税、地方交付税および市債などについては、現時点で見込み得る額を計上するとともに、国・県補助金、使用料についても積極的に歳入増に努めたところであります。さらに、財政調整基金、減債基金

平成八年度の予算額につきましては、一般会計総額は、九十五億六、五〇〇万円、前年度当初と比較しますと、五・七％の増となり、特別会計五会計の総額、四十三億九、五六一万一千円を合算しますと、百三十九億六、〇六一万一千円となり、前年度比六、八七％の増となるものであります。

なお、リフトおよび水道事業会計は、別途編成となります。

以上、予算編成に当たっての基本的な方針を申し上げますが、次に平成八年度主要事業についてご説明申し上げます。

平成八年度一般会計予算



生活環境整備

市民生活に直結した生活環境の整備を図るため、市道改良・舗装および、橋りょう架け替え、所野広久保団地建て替え、花石町・久次良町を中心とした下水道整備および中宮祠・湯元地区処理場更新事業を継続事業として実施いたします。

さらに、小来川および霧降簡易水道事業についても継続事業として実施するほか、稲荷町地内をはじめ宅地分譲事業を積極的に実施いたします。

および、ふるさと活性化基金などについても適切な活用を図ったところであります。

歳出につきましては、各種施策について優先順位の厳しい選択を行うとともに、先に策定しました新日光市振興計画の初年度として計画に盛り込まれた諸施策の着実な推進を図りながら、市民のニーズにこたえるため、投資的経費に重点かつ効率的に財源を配分し、経常的経費については、極力節減・合理化に努めたところであります。